

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)上新電機 茨木市 上穂東店	階数	地上2F
建設地	茨木市上穂東町	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	0 人
地域区分	6地域	年間使用時間	0 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年10月 予定	評価の実施日	2019年4月10日
敷地面積	5,930 m ²	作成者	上田
建築面積	3,538 m ²	確認日	2019年7月23日
延床面積	6,768 m ²	確認者	上田

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	64%
③上記+②以外の	64%
④上記+	64%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

音環境	2.6
温熱環境	2.6
光・視環境	3.0
空気質環境	3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	2.7
耐用性	3.0
対応性	3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.0

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

建物外皮の	2.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	2.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源	3.4
非再生材料の	3.0
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

地球温暖化	4.4
地域環境	3.4
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	物販店舗として、コストを考慮しつつも店舗空間の快適性や利便性及び、省エネ効果を考慮した計画とした。	その他 0
Q1 室内環境	室内環境の快適性を考慮した空調設備計画と照明設備計画とした。	Q3 室外環境(敷地内) 沿道沿いの植栽により、周辺環境への圧迫感等を考慮した計画とした。
LR1 エネルギー	売場照明(LED器具)には調光機能付システムを採用した計画とした。	LR3 敷地外環境 建物の省エネ性能を高めて、ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑えた計画とした。
Q2 サービス性能	天井高さをH=3.6m以上とし、室内の快適性と室内環境の向上を図りつつ、壁長さ比率を小さく抑え、空間の自由度を高めた計画とした。	
LR2 資源・マテリアル	節水型機器の便器の採用と、汚染物質含有材料を使用しない計画とした。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0012

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)上新電機 茨木市 上穂東店 新築工事					
	建設地	茨木市上穂東町					
	用途/区分	物販店 工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					2	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

	エネルギー消費量の報告	報告しない
--	-------------	-------

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.4	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	2.0	2
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		